

時事新報定例
時事新報ハ一年三百六十五日一日モ休刊セズ其代價返
送料廣告料ハ左ノ如シ
一紙三錢〇一月月金五十錢〇三月月金一圓五十錢〇六月月金三圓
〇一年月金六圓
〇時事新報社ヨリ直接ニ郵購ニテ送交スルモノニ限リ右定價ノ外ニ二月
月二十六日ノ送料ヲ要ス

Table with 4 columns: 行目 (Line), 行目 (Line), 行目 (Line), 行目 (Line). It lists various rates and prices for different categories.

時事新報

農商務省
農商務省上伯が農商務大臣に任ぜられしに付き其節
七月廿六日)の紙上ノ一書を記し結局我輩の意見は大
體が種々新案を運らして事を多くせんよりも其立
去り簡便かつかんと所望したるものもあれども其立
去り簡便かつかんと所望したるものもあれども其立
去り簡便かつかんと所望したるものもあれども其立

定まりたる税法にても之を課するも時節の遅速と手
数の繁簡とより民業に利害する甚大なるもの
なれば是れ亦断々に附す可らず其他近來の問題たる登
記の實地如何の如何す可や、地押調査は如何して簡便
なる可や、道路改良に民力と費すは何れの邊に止ま
りて適當なる可や、市街取直の外見に軒先きを切
りて市街の美觀に資する可や、戸籍の調査、衛生
警察の費用に於ては如何に簡便にして地方の
財政警察の費用に於ては如何に簡便にして地方の
財政警察の費用に於ては如何に簡便にして地方の

選信省告示第四百十號
土佐國土佐郡高知本町筋へ郵便受取所ヲ置キ高知本町
筋郵便受取所ト稱シ來九月十六日ヨリ其事務ヲ取扱ハ
ルニ付
明治廿一年八月廿九日 選信大臣子爵板本武揚
免本職兼兼會計局検査課長被仰付 片桐百次郎
海軍主計學校教授被仰付 片桐百次郎
海軍主計學校教授被仰付 片桐百次郎

官報

選信省告示第四百十號
土佐國土佐郡高知本町筋へ郵便受取所ヲ置キ高知本町
筋郵便受取所ト稱シ來九月十六日ヨリ其事務ヲ取扱ハ
ルニ付
明治廿一年八月廿九日 選信大臣子爵板本武揚
免本職兼兼會計局検査課長被仰付 片桐百次郎
海軍主計學校教授被仰付 片桐百次郎
海軍主計學校教授被仰付 片桐百次郎

之に亞ぎ石狩、空知の兩郡は其次に位於り而して今其概
況を見るに春來氣候寒冷なり且も五月下旬に至り一時
溫暖を備ふしるを以て桑芽の伸暢速にして蠶兒の解
化を促し各郡共早きは五月廿二日頃より始りし始め
同廿七日より六月四日頃までは其最中にして其最も遅
きも同十七日頃迄に大抵下りしれり即ち之を前年
に比するに其孵化凡そ十日間を早たり然るに五月二
十七日頃より桑葉甚しく爲に桑芽の陸續と受る少る
らす且つ札幌近傍の桑園は嫩芽を侵食する一種の害虫
を發生し札幌桑園の如きは殊に其被害を被り殆んど摘
葉の望なき迄に至らし先加之爾後雨連日再び冷氣を
僅し七月初旬迄の間快晴の日甚だ稀に寒暖計は概ね
華氏五十度前後と昇降せり故に桑葉の暢茂極めて悪し
く摘葉の量例年の半額に達せず蠶兒の發育亦甚だ緩慢
にして炭火燃水等を以て温度を與へざるも蠶室に適せ
ざる家屋多く十分冷温を防ぐ能はず強壯性の蠶兒は發
育を妨るまでに至らざるも虛弱性の者以て生長を停
止し一般に不揃の状況と呈せり故に各郡起は驚くべき
長日子を費し大助育を爲すものにして一旬十日乃至
十九日、二旬十日乃至十六日を要し例年七月十日乃至
上旬の最中なるに本年は早きも四眠起晩起は三眠起前後
ありし然るに七月九日乃至快晴續日曇も亦大に加り寒
暖計は俄に八十度以上と昇りたるを以て早摘の分は忽
ち老熟を來し晚摘の分も亦大に發育を進めたり即ち一
般の上葉は早きは七月九日頃にして晩きは同二十七八
の兩日頃より氣候既に斯の如く冷熱致を失したる
がため已も三齡以前に蠶病少からざるに四眠前後に及
びて俄に炎熱の激變に遇ひしを以て大に病蠶を現出し
斃死するもの尠ならず而して其病蠶の最も多きは節蠶
透頭蠶にして微粒子病及白傷病(コイヤリ病)なり故に
葉中及葉中に於て腐敗するもの甚多く一般の收購を
平均すれば例年の半も過ぎざるべしと云ふ今本年全
道の蠶種捕立數及戶數を掲ぐれば左の如し(北海道廳)

Table with 2 columns: 郡區 (Prefecture/Division) and 蠶種捕立數 (Silkworm rearing count). Lists various prefectures and their respective counts.

日本美術
日本美術の高尚優美に於て特種の技巧を
備へたるは已に廣く世界にも鳴り渡り歐米人が其洋の
美術を稱すれば先づ第一日本を以て稱揚し現に其貴
紳豪富の家には多くは室内の裝飾に我國製品を備付け
珍重愛護して人々も誇るべきなるが夫が中に或は日本
にても得がたき希有の珍物を貯ふるあり或は又其人等
ら贈物と知り切らざる品物を悉く珍重し居るも有り

大日本美術
大日本美術の高尚優美に於て特種